

日本ロールシャッハ学会第21回大会ご案内

日本ロールシャッハ学会第21回大会を2017年10月28日(土)～29日(日)札幌国際大学で開催させていただくことになりました。本学会の北海道での開催は、2000年北星学園大学(遠山尚孝大会長)で行われた第4回大会以来、実に17年ぶりです。この間、臨床心理士の数も、心理臨床現場の幅も一気に増大しました。また、国家資格となる公認心理師の今後の方向性が注目されます。この17年の間に、心理臨床は高まりを見せつつ、新たな転機を迎えていると言えます。それでも、心理アセスメントは心理臨床の中核に位置すること、そのための教育・トレーニング・自己研鑽の重要性に変わりはないでしょう。このことは、様々な場で幾度となく強調されていますが、本大会でもその基本に立ちかえりたく思います。さらに、ロールシャッハ法をはじめとした投映法の人間理解への奥深さ、尽きることのない面白さを多くの皆様に如何にお伝えできるかと考え色々な企画をたてました。

1日目のミニシンポジウム、2日目のシンポジウムの流れの中で、転機に立たされている心理アセスメント教育のあり方を検討しつつ、心理臨床現場でのアセスメント、特に投映法の活用の仕方や目指す方向性などについて事例を通して多くの皆さま共々議論できたらと思います。また、特別講演ではフロイトの症例として今も名を遺す「狼男」を取り上げます。彼の生き様をめぐる種々の記録および彼が受検したというロールシャッハ・テストのデータから妙木浩之先生と吉村聡先生が「狼男を見直す」と題してお話ししていただきます。ロールシャッハ法の過去を辿りつつ、さらに未来に向かい着実に歩み続けるために、改めて「ロールシャッハ法の再評価」が必要なのではないのでしょうか。

例年より若干早い時期の開催となりますが、爽やかな秋の北海道をご堪能していただけたら幸いです。準備委員会一同、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第21回大会準備委員長 佐々木 淑子

*このご案内に同封されているもの

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1) 日本ロールシャッハ学会第21回大会 ご案内 | 2) 大会・ワークショップ参加申込書 (はがき) |
| 3) 払込取扱票 (ゆうちょ銀行) | 4) 研究発表・ワークショップ事例提供申込書 |

主催：日本ロールシャッハ学会

後援：北海道臨床心理士会

I. 大会の概要

会期：2017年10月28日(土)～10月29日(日)

会場：札幌国際大学 〒004-8602 札幌市清田区清田4条1丁目4番1号 <http://www.siu.ac.jp/>

大会内容：研究発表、特別講演、シンポジウム、ミニシンポジウム、ワークショップ、理事会、総会、懇親会等

II. 大会日程

第1日目 10月28日(土)

9:15	10:00～13:00	13:00～14:30	14:30～15:45	16:00～17:30	18:15～20:15
受付	ワークショップ (4コース)	昼休み	特別講演	ミニシンポジウム	懇親会
		理事会		研究発表	

第2日目 10月29日(日)

9:30	10:00～11:30	11:30～13:00	13:00～13:45	14:00～17:00
受付	研究発表	昼休み	総会	シンポジウム

III. プログラムの概要

(1) ワークショップ 10月28日(土) 10:00~13:00

以下の講師陣と内容でワークショップを開催いたします。参加申込書(はがき)にご希望のコースをお書きください。1、2、4のコースでは事例提供者を募っております。皆様のご参加ならびに事例提供をお待ちしています。なお、ワークショップ料金は大会参加費の中に含まれています。

1. 「力動的解釈の基本を学ぶ」……………講師：馬場 禮子(中野臨床心理研究室)

I 講義

1. テストバッテリーの中でのロールシャッハ法の位置づけ—それを通してロールシャッハ法の特異性を学ぶ
2. 本法の力動的な読み方—被検者の思考過程を体験することを通して、その内的力動を知る方法で、主観に偏らずしかも検査者の感受性を活かして読み取る方法を学ぶ

II 事例検討

上記の講義をベースにした事例検討を一例行う。

*事例を募集する。本研修の趣旨に合った事例(内容豊富で、内的力動について多くのことが分かる事例)を選ばせて頂きたい。時間の都合上、一例のみとなることをご了承頂きたい。

2. 「心理検査のまとめ方・伝え方」……………講師：加藤 志ほ子(南青山心理相談室)

臨床の現場では、心理検査の依頼に対し、まず心理検査から被検者をどのように読み取り、理解していくかの力を養うことが大切な課題になります。次に、読み取れた被検者の心理的要素の理解に加え、検査から推察できた内容を、依頼者の目的に合わせて、どのように依頼者に報告するかが課題となります。また状況に応じて被検者本人へ伝えていくことが必要になる臨床現場もあり、検査結果の中からどのように伝えていくことが臨時的に役に立つのかを考えた工夫が必要となります。

本ワークショップでは、検査依頼の状況や、検査施行時の様子も加え、検査内容を力動的に読み取ることについての講義を行い、事例を通して、その力動的な読み取りについて考え、その結果をどのように纏めていくか、そしてそれをどのように伝えていくかについて考えていきます。(ロールシャッハ・テストと SCT などバッテリーのある事例を募集します)

3. 「心理検査バッテリーの実際」……………講師：高橋 依子(大阪樟蔭女子大学)

心理テストの種類は多いが、それぞれのテストが捉えられる範囲は限られている。そのため、臨床現場ではアセスメントの目的に応じて、複数の心理テストを組み合わせて実施していく。多くの心理テストを実施すれば対象者のパーソナリティを多角的・多層的に捉えることが可能になるが、対象者の負荷も高くなるし、時間の制約もある。そこで、1つの心理テストでより多くの側面を捉えるためにロールシャッハ・テストが選ばれることが多い。ロールシャッハ・テストを中心にして、さらに、パーソナリティのどのような側面を理解したいかによって、他の心理テストを選択していく。今回のワークショップでは、どのような対象者にどのような心理テストバッテリーを組んだら良いか、時には心理テストが実施しにくい臨床現場では、どのようにアセスメントを進めていけば良いかなどについて、事例を交えて考えていきたい。

4. 「病理へのアプローチ〜クライアントの理解と支援〜」……………講師：青木 佐奈枝(筑波大学)

臨床支援においては、クライアントの理解に基づいて治療や支援の方針を立てるが、その理解は疾患名がわかるだけでは不十分である。同じ疾患であっても、その病理は全く同じとは限らないし、また、同じ問題行動を示す者においても、その背景要因が同じとは限らない。人の数だけ病理があると言える。また、病理とともに把握が必要なのはその人が有する資源・健康度である。「病理」と「資質(健康度)」の入り混じり方は個人によって異なり、その有り様は「千差万別」である。この「千差万別」をより細かく、より丁寧に読み込む手段の一つにロールシャッハ・テストがある。本ワークショップでは、クライアントの「病理」と「資質(健康度)」をどう把握し、それをどう支援に生かすかについて講義と事例検討をもとに考えていきたい。ロールシャッハ・テストを中心にテスト・バッテリーを組んだ事例を募集いたします。

(2) 理事会 10月28日(土) 13:00~14:30

理事および監事の先生方には別途ご連絡をさしあげます。

(3) 特別講演 10月28日(土) 14:30~15:45

演題：「ロールシャッハ・テストからみたフロイトの症例—狼男を見直す」

講演者：妙木 浩之(東京国際大学)、吉村 聡(上智大学)

司会：森田 美弥子(名古屋大学)

(4) 日本ロールシャッハ学会 教育・研修委員会企画ミニシンポジウム 10月28日(土) 16:00~17:30

テーマ:「これからの心理アセスメント教育を考える」

シンポジスト:黒田 浩司(山梨英和大学)、小海 宏之(花園大学)、高橋 靖恵(京都大学)

司 会:高橋 昇(愛知淑徳大学、日本ロールシャッハ学会 教育・研修委員長)

(5) 研究発表 10月28日(土) 16:00~17:30 / 10月29日(日) 10:00~11:30

1. 研究発表は、口頭発表およびポスター発表とします。
2. 口頭発表は、主に事例研究発表とします(90分)。ポスター発表の在席責任時間は60分を予定しています。
3. 発表希望者は、「VI. 研究発表の申し込み要領」および「X. 今後の予定」記載事項を確認の上必要な手続きを行ってください。
4. 発表機材として、パソコン(Windows8 パワーポイント 2013)およびパソコンに接続するプロジェクターを準備いたします。その他の機材利用をご希望の方は、大会事務局までお問い合わせください。
5. 研究発表日は準備委員会で決定いたします。
6. 発表日時、抄録記載要領等については、適宜、発表者にご連絡いたします。

(6) 懇親会 10月28日(土) 18:15~20:15

場所:活菜旬魚さんかい本店(札幌市豊平区月寒東3条19丁目3-1)

*皆様のご参加を心よりお待ちしております。会場の関係上、できるだけご予約をお願いいたします。

(7) 総会 10月29日(日) 13:00~13:45

(8) シンポジウム 10月29日(日) 14:00~17:00

テーマ:「現代の投映法がめざすもの—事例を通して考える」

事例提供:中村 多喜子(札幌医科大学 神経精神医学講座)、坂田 太(札幌医科大学 神経精神医学講座)

指定討論:阿部 恵一郎(あべクリニック)、佐藤 至子(仁愛大学)、松本 真理子(名古屋大学)

司 会:伊藤 宗親(岐阜大学)、佐々木 淑子(札幌国際大学)

IV. 大会諸費用

大会参加費		予約参加	当日参加
大会参加費	本学会会員	7,000円	8,000円
	臨時会員(一般)	8,000円	9,000円
	院生・学生	5,000円	6,000円
懇親会費	本学会会員	5,000円	6,000円
	臨時会員(一般)	5,000円	6,000円
	院生・学生	4,000円	5,000円

*本案内に同封してある払込取扱票でお振込みください。ゆうちょ銀行に備え付けの用紙を使用するときは、振込金額の明細、所属を必ずお書きください。

V. 大会参加の申し込み要領

1. 同封の参加申込書(はがき)に必要事項をご記入のうえ、切手を貼って投函してください(2017年8月31日(木)必着)。
2. 同封の払込取扱票通信欄の該当する金額に印を付け、合計金額と必要事項をご記入のうえでお振込みください(振込期限2017年8月31日(木))。期日までにお振込みがない場合は、当日参加料金を学会当日受付にてお支払いいただきます。なお、いったん納入された参加費は返金いたしません。
3. 臨時会員(一般)は、原則として保健・医療・福祉・教育・司法等の領域で心理臨床などの実務経験を持つ方とさせていただきます。院生・学生の非会員の方はこの限りではありませんが、守秘義務の責任を負うことが条件です。なお、院生・学生の方は、当日に学生証をご提示いただきます。

VI. 研究発表の申し込み要領

1. 口頭発表者・連名発表者ともに、本学会会員であることが発表者要件となります。未入会の方は、日本ロールシャッハ学会事務局(本案内末に記載)へ連絡し、5月末日までに入会手続きを行ってください。学会員の方も年会費を納入していることが発表要件となります。

2. 研究発表をご希望の方は、下記の方法で2017年6月16日(金) 必着でお申し込み下さい。

本案内に同封された「研究発表申込書」に必要事項をご記入のうえ、第21回大会事務局宛にご郵送ください。その際の封筒は各自ご用意ください。

VII. 昼食

昼食用のお弁当を会場で販売いたします。1食1,000円で、予約制とさせていただきます。事前にお申し込みください。お申し込みの際は、同封の振込用紙の昼食欄(1日目、2日目)にチェックをし、その分の金額を加えてお振込ください。

*学会期間中、学食は営業していません。会場周辺の食事処も少なく、お弁当のご予約をお勧めいたします。

VIII. 会場へのアクセス

札幌国際大学 〒004-8602 札幌市清田区清田4条1丁目4番1号

■地下鉄東豊線「福住駅」から(「福住駅」まで「さっぽろ」から13分)

中央バス「清田2条1丁目」下車。徒歩8分。

(バス系統:【のりば⑥】平50、80、福87、福88、88 【のりば⑦】福85、85、福86、86 【のりば⑧】福96、福97、113、広島線、千歳線)

中央バス「札幌国際大学前」下車。徒歩5分。(バス系統:【のりば⑤】福95)

■地下鉄東西線「南郷18丁目駅」から(「南郷18丁目駅」まで「大通」から14分、「新さっぽろ」から5分)

中央バス「札幌国際大学前」下車。徒歩5分。(バス系統:南77、南85、南86)

■新千歳空港から

空港連絡バス(中央バス/北都交通) 札幌都心(福住駅経由)行きで「清田団地入口」下車。徒歩10分。
(乗車時間約40分)

IX. 臨床心理士の研修ポイントについて

臨床心理士資格更新のための研修ポイントが取得できます。なお、ポイントは公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士教育・研修規定別項」に定められた通りです。

X. 今後の予定

1. 発表申込期限(研究発表、ワークショップ事例提供)……………2017年6月16日(金) 必着
2. 発表申込者への抄録作成要領の送付……………2017年6月下旬
3. 抄録原稿の提出期限……………2017年7月31日(月) 必着
4. 参加事前申込・諸費用払い込み期限……………2017年8月31日(木)
5. プログラム・抄録集の発送……………2017年9月下旬

連絡先

(1) 第21回大会に関する連絡先

日本ロールシャッハ学会第21回大会事務局(代表:佐々木 淑子)

〒004-8602 札幌市清田区清田4条1丁目4番1号 札幌国際大学 人文学部心理学科 佐々木研究室内

Email: jsrpm21@gmail.com

大会ホームページ: <http://jsrpm21.html.xdomain.jp/>

郵便振替口座名 日本ロールシャッハ学会第21回大会

郵便振替口座番号 02700-5-102729

(他金融機関からの振込用口座番号 二七九(ニナナキユウ)店(279)当座 0102729)

(2) 学会事務(入会・住所変更・学会費納入などに関する連絡先)

日本ロールシャッハ学会事務局

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学総合情報メディアセンター 伊藤研究室内 日本ロールシャッハ学会事務局

E-mail: jimukyoku@jsrpm.jp 学会ホームページ: <http://jsrpm.jp/>

*第21回大会の事務局ではありませんので、ご注意ください。